

すべての町民の暮らしを応援します

●編集・発行／佐用町立図書館 〒679-5301 佐用郡佐用町佐用 2585 番地  
Tel : 0790-82-0874 Fax : 0790-82-0313 E-Mail : toshokan@town.sayo.lg.jp



## Book Review

図書館司書おすすめの一冊



## 『手のひらの小さな愛』

—大雪山の森から誕生した伝説のオブジェ—

川嶋康男／著 新評論 2019年

本書は、かつて木工旋盤で異才を放った木地師出身のクラフト作家・太田久幸の人となり、遺族を含めた身近な人々や、現在も活躍するクラフトマンたちへの取材から浮かび上がらせる。

早くに両親を亡くし、中学卒業後に旭川の木地師の元へ丁稚奉公に入った太田は、「腕に貯金しよう」と札幌でも修業を積み、旋盤職人としての高い技術を身に付けていく。転機は、独立して旭川家具の下請け職人をしていた昭和52年、旭川市工芸指導所が招いた工業デザイナー秋岡芳夫との出会い。それまでも、わが子のために動物のおもちゃを作っていたが、誰も手がけていない、自分らしいものを生みだしたいと試作を重ね、クラフト作家としての才能を開花させていく。製図なしで、木の声に耳を傾け、自身の思いをのせて旋盤し、シンプルな造形美をもつ作品にたどり着いていった。

多くの人の言葉から、努力を惜しまない職人氣質や世界観が伺えるとともに、職人世界の一端が垣間見える。また、収録されたハト、ニワトリ、卵ヒヨコなどの数多くの作品写真は、手の中の納まるつるんとした愛らしい形をとらえ、手に取ってその質感を確かめたい思いをかき立てるとともに、今も彼の作品が残る東川町へと見るものを誘う。(蔭木)

## 7月 文月

## としよかんカレンダー

## 8月 葉月

日	月	火	水	木	金	土
	1 月曜休館日	2 館内整理日	3	4 0・1歳 わらべうたとえほん 10:30~	5	6 おはなし会 14:00~
7 おはなし会 14:00~ 14:30~	8 月曜休館日	9	10	11	12	13 おはなし会 14:00~
14 おはなし会 14:00~ 14:30~	15 月曜休館日	16	17	18	19	20 おはなし会 14:00~ イベント①
21 おはなし会 14:00~ 14:30~	22 月曜休館日	23	24	25	26	27 おはなし会 14:00~ イベント②
28 おはなし会 14:00~ 14:30~ イベント③	29 月曜休館日	30	31 館内整理日			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■色の日は休館日です。

7月 2日は館内整理日です。  
7月31日は館内整理日です。

イベント①=「佐用のこんちゅう大集合  
—こんちゅうかんの標本たち—」9/1まで  
イベント②=夏休み体験教室  
「粘土で作るものがたりの仲間たち」  
イベント③=「耳から楽しむものがたり」  
10:30~11:30

開館時間は  
午前10時から午後6時です。



## 『地底旅行』

ジュール・ヴェルヌ/作  
平岡 敦/訳  
岩波書店 2018年



鉱物学者リーデンプロック教授は、16世紀アイスランドの高名な錬金術師が残した古書を手に入れました。研究助手で甥のアクセルと教授は、その本の中から滑り落ちたボロボロの羊皮紙にルーン文字の暗号文を見つけ、解読に没頭し、暗号を解く鍵を見つけます。それによると、7月1日の前、アイスランドのスネッフェルス山の火口に行き、穴の一つを下ると、地球の中心に行き着くというのです。アイスランド行きを阻止したいアクセルは、地球の内部は高熱でそんなことはありえないと教授を説得しますが、言い出したら聞きません。2人は出発し、寡黙なアイスランド人の猟師ハンスを旅のガイドに、標高千五百メートルのスネッフェルス山の火口を目指します。

水不足に苦しんだり、仲間とはぐれ迷路をさまよったりするアクセルの様子にハラハラするとともに、地底に広がる海に生きる巨大海獣同士の戦いや骨の大平原などの光景に驚かされます。研究のためなら猪突猛進、短気な教授と、旅をやめたい優柔不断なアクセル、頼りになるハンス、性格の違う3人が繰り広げる冒険に引き込まれ、無事に地上に戻る結末に安堵します。(尾崎)

## 『ゆかいなかえる』

ジュリエット・ケペシュ 文・絵  
いしいももこ 訳  
福音館書店 1964年



水の中にゼリーのような卵がありました。魚がやってきて食べて

てしまいますが、4つの卵だけが流れていきました。やがて卵は、おたまじゃくしからかえるへと成長しました。4匹のかえるたちは追いかけてこをしたり、かたつむりのかくっこをしたりして水辺で遊びます。そこへ、さぎたちがかえるたちを食べようとやってきます。かえるたちは、蓮の葉の影に隠れてさぎたちの目をだまし逃れました。また、手をつなぎ輪になって遊んでいると、かめもやってきますが、かえるたちはかめの背中に乗って見つからないようにやり過ごしました。その後、おなががすいたかえるたちは、とんぼの卵と水草のご飯を食べ、暗くなると、夜の動物たちと一緒に夏の歌を唄って過ごしました。そして、冬がやってくると、土の中で春になるまで眠ります。

陽気なかえるたちの一年が緑、青、白に黒い線で表情豊かに描かれています。天敵からうまく逃れる様子に笑みがこぼれるとともに、のびやかに遊ぶかえるたちの姿に心が弾みます。読んであげるなら3歳から。(中尾)

あそばせ隊 おはなし会  
毎週土曜日 / 14:00 ~ 14:30  
幼児・小学生対象

図書館 おはなし会 毎週日曜日  
小さい人(5歳以上) / 14:00 ~ 14:30  
7月のおはなし「地蔵浄土」  
『子どもに語る日本の昔話 2』こぐま社  
大きい人(小学3年生以上) / 14:30 ~ 15:00  
7月のおはなし「元気な仕立て屋」  
『イギリスとアイルランドの昔話』福音館書店

※いずれも図書館おはなしコーナー 事前申し込み不要

おはなし会



6月1日、NPO法人こどもとむしの会が運営する佐用町昆虫館の開館10周年行事「むしむし祭り」が文化情報センターで行われました。図書館では、虫に関する本を展示コーナーに集めました。今月20日からは「こんちゅうかんの標本たち」を同法人の協力で紹介します。佐用町は豊かな自然と共に、昆虫館や天文台、環境体験館という誇りうる公開施設があります。夏休みには、ご家族で施設巡りや、「昆虫ウォッチング」、「星空観察」などはいかがでしょうか。(T・T)

編集後記

